

月と金星の大接近 会員による写真撮影

編集子

去る5月16日の夕方から夜にかけて日本中の天文ファンを魅了した天文現象が起きました。読者の中にご覧になった方も多いたと思いますが月と金星の大接近です。お天気が気になりましたが、当日は運よく晴れて日の入りのころは雲ひとつない、正確に言うと飛行機雲がありました。快晴でした。月齢は2で金星は-3.8等なので、昼間から見えていたはず、昼間観望会をやっていた天文台もあり、ツイッターには見えたぞという書き込みがたくさんありました。

日が暮れて西の空に輝く月と金星は普段星空に興味のない人の目にも鮮やかに映ったことでしょう。7時、7時半、8時と時が経つとともに近づきながら沈んでいきましたね。西に行くほど大接近が眺められ、東南アジアでは金星食（金星が月に隠される）が見られたはずで。

皆さんはこんな見事な星空を今までご覧になりましたか？私は記憶ありませんし、実際昨年一昨年にも起こっていません。ステラナビゲータで調べてみると前回起こったのは2005年8月8日の日没後だったはず、でも覚えてないですね。実はそんなに珍しい現象ではなく来年にも6月30日（木）に起こります。しかしその最接近時は日本標準時で18時ころ、日の入り前です。その時の金星は明けの明星ですから日が暮れるより先に沈みます。夜明け前では当日も翌日も離れすぎです。それを観るには白昼に望遠鏡を覗くしかない。でも1年待てば再来年8月14日3:00ころチャンスはやってきます。しかもこのときは両者は今年よりももっと接近するはずで。ぜひとも早起き、または夜更かしして月の船に乗る明けの明星を眺めましょう。

その金星に向けて日本の探査機、その名も「あかつき」が5月21日に打ち上げられました。今到着予定の今年12月には金星は暁の東天で輝いています。

今回多数の会員の皆さまから送っていただいた写真をp2～p6およびp37～p39に掲載します。裏表紙には日没前に撮られた写真もあります。できるだけそのままを載せましたが、印刷がうまくいかなかったらごめんなさい。

☆・月と金星の大接近 会員による写真撮影・☆

秋田勲さん 奈良斑鳩にて



夕暮れは、古都の夜空を美しく飾ってくれました。

斑鳩の法起寺にて
EOS KISSX3 ISO400

上 35mm F5.6
19:37 7s

左 500mm ボーグ ED77mm
直焦点

19:32 1/2 s

表紙は

135mm F5.6

19:34 3s、

☆・月と金星の大接近 会員による写真撮影・☆

前原裕之さん 花山天文台にて



カメラ RICOH GX200 f=10.5mm F4.4
上 19:37 4s 下 19:51 1s 双眼鏡付き



☆・月と金星の大接近 会員による写真撮影・☆

茶木恵子さん 高槻にて



カメラ : Canon EOS Kiss X2
レンズ : Nikkor 180mm F2.8
→ F3.5 + テレコン 2 倍
trimming

日時 : 2010/5/16 20:22
ベース画像 (地球照と背景)

No3113 露出 2 秒

月の明部分 : No3112,14,15

露出 1/30,1/13,1 秒の 3 枚

金星 : No3115 露出 1/30

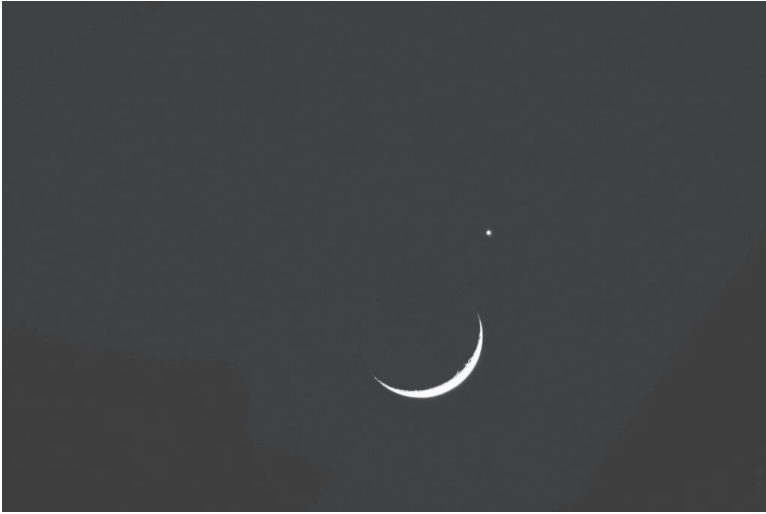
以上 4 枚をコンポジット

もうじき電線にかかりそう
でした (笑) 地球照が写ると 2
日月と金星が白とびしてしま
うので、露出の異なる 4 枚を

コンポジットしてみました。ちょっと苦しかったでしょうか? 下は
Canon EF70-200mm F4 106mm ISO400 露出 3.2 秒時刻は 20:50 です。



的場裕治さん 野洲にて



機材及び撮影データ

カメラ：キャノン EOS20D

レンズ：キャノン 400mm ズームレンズ

撮影時刻 20時23分 露出 0.6秒

絞り : f5.6

露出補正 : -2.0 ISO 感度 : 800

撮影場所 : 野洲市小篠原

コメント

5月16日の20時頃自宅を出発して上高地へ写真を撮りに行く予定をしておりましたが都合で自宅の近くでと思い最接近の写真は撮れませんでしたけれど送らせていただきます。これからはもう少し下調べをしてここでという場所で撮影しようと思います。

p37へ続く